

Rich ~ピチャリ~

七飯町歴史館だより

第101号

ななえ古写真物語

VOL. 101

静かな駅舎

仁山信号場

昭和40年代か？

仁山駅



nanae historical
museum collection

つい先日、当町の峠下や仁山地域の桜について、どんな種類の桜が、どこにあるかを地図を持ちながら調査した。あまり知られていないが、仁山のスキー場内には樹齢100年以上といわれるエゾヤマザクラ（大山桜）が残っているので、その現況も確認したかったこともあり、春のフィールドに赴いた、という訳だ。

周囲の山々は、桜のピンク色や赤みを帯びて開き始めた新芽のおかげで、緑一色とはならず「春紅葉」の様相となり、冬の間稼働していたリフトは休暇中だった。鳥の声がとても爽やかに響いていた。目当ての桜は元気に花を咲かせており、役目を果たした私は、仁山の眼下に広がる町を眺めながら、車に戻った。

仁山駅の周りにも桜があるので、そのまま無人となった駅に車をとめた。そこには、上の写真と変わらぬ佇まいの駅舎が残っていた。ふと、「昔は、スキー靴をはいたまま、スキーを担いで汽車に乗り、降りてすぐスキーを装着し仁山で滑ったもんだよ。」と誰かが言っていたのを思い出した。それ程までに駅舎とスキー場の距離は、「目と鼻の先にある。」という表現がしっくりくるが、往時の賑いを想像すると、今の静かな駅舎に哀愁を感じた。

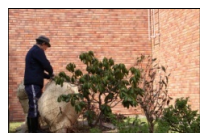
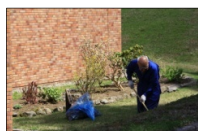
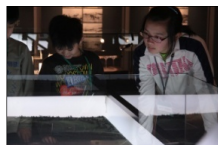
そんな趣のある仁山駅は、「仁山信号場」として昭和11年に開業、現在の場所には昭和19年に移築したという。そのことは駅舎横に建立された「顕彰碑」にも記されている。終戦後、疎開者の定着や開拓者の入植により乗降客が増加。それをうけ、昭和22年には仮待合室を設置、仁山高原ハイキング道路を新設するなど、旅客誘致活動が盛んになったという。そして、仁山駅となったのが昭和62年である。

ところで、仁山駅の周辺は勾配がきつく、大沼へ向かうにはSLにとってはかなりの難所だったといえます。そのため、貨物列車や急行などは1台の機関車では足りず、補助機関車を含め2台の機関車が力をあわせて走る「スイッチバック」と呼ばれる方法で、この難所を乗り越えたそうです。前後に連結された機関車が蒸気を立ち上らせ走る姿は、さぞかし迫力のある姿だったろうと想像します。そして、無事に急勾配を乗り越え大沼公園駅に着くと、役目を終えた後ろ側の機関車は連結を外され、戻っていく特殊な区間だったそうです。

駅舎は当時のキオクを刻み残されている。SLを利用した多くの人が、満開となった仁山のエゾヤマザクラを眺めていたことでしょう。

23日

今年度のジュニア探検クラブが始まりました。個性豊かな子どもたちと共に1年を過ごします。始まりは、開講式。館長より会員証をひとりずつ渡されます。自己紹介をしたあとは、思い思いの絵や名前を書いた名札作りに挑戦、苦戦していた子もいましたが、上手に仕上がりました。午後は学芸員の案内で館内を見学。普段はあまり見られない剥製や標本類に、驚きの声が上がります。緊張した時間の中にも部屋を飛び出し、遊びに行く様子にほっとした一日でした。



27日

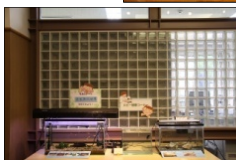
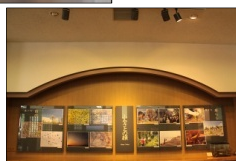
当館友の会の皆さんが、春空のもと、野草園の整備をして下さいました。冬の間、低木を覆っていたムシロを外したり、標示版を付けたり、枯葉を片付けたりと、ていねいに行っていました。こうした作業の積み重ねが、季節を通して、訪れてくれる来館者のひとときの愉しみにつながるのではないかと思います。

ロビーの観察コーナーと写真がかわりました

来館者の皆さんに少し足を止めて、ご覧になって頂きたいものが、ただいま当館ロビーには2つあります。

『淡水魚の世界』では東南アジアなどに生息する熱帯魚や、七飯町で捕獲したモツゴ、ギンブナなどを観察でき、写真のコーナーでは、くらしと自然に分けて、町内で春と夏に撮影された写真を展示しております。植物や風景、日々の暮らしのひとこまを切り取った写真です。

季節によって異なるロビーの展示を楽しんで頂けるようこれからも工夫を重ねていきます。



編集後記 ～tawagoto～

だんだんと暖かくなってきました。館の周りでは、カワラヒワやキビタキがさえずり、野草園では赤や黄色、ピンクの花が開き始めました。誘われるようにチョウの姿もあちこちで見かけるようになり、確実に季節が夏へ向かっているのを感じます。

ふと、足元へ目を向けると、昨日まで丈の低かった草たちが、空を目指し勢いを増している。それはつまり、ある時期が到来したことを知らせるサイン。さあ、今年も草刈りするぞ！（やまだひさし）

6月の予定

1	水
2	木
3	金
4	土 フォレスト・コーミング
5	日 フォレスト・コーミング予備日
6	月
7	火
8	水 夜の博物館
9	木
10	金
11	土
12	日 パネル展最終日
13	月
14	火
15	水
16	木
17	金
18	土
19	日
20	月
21	火
22	水
23	木
24	金
25	土 ジュニア探検クラブ
26	日
27	月
28	火
29	水
30	木

※6月の休館日はありません

ニオイスよってイセン

野草園では「ニオイスイセン」が風に揺られ、咲き誇っています。茎が細く、華奢な印象ですが、放つ香りには、抜群の存在感があります。歳時記では春の季語です。



Pichari

～ピチャリ～

第101号

平成28年5月20日 発行

七飯町歴史館

〒041-1193 亀田郡七飯町本町6丁目1-3

電話 0138-66-2181 FAX 0138-66-2182

E-mail : rekishikan@town.nanae.hokkaido.jp